

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-076456

(43)Date of publication of application : 23.03.2001

(51)Int.Cl.

611B 23/03

(21)Application number : 11-250895

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 03.09.1999

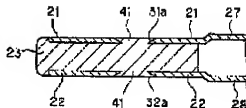
(72)Inventor : MEGURO HIROSHI

## (54) DISK CARTRIDGE

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To miniaturize and thin a cartridge main body, and to easily and surely connect metallic upper and/or lower plates to a middle frame.

SOLUTION: First, second, third and fourth engaging holes 31a and 32a engaged with a middle frame 23 are bored in upper and lower plates 21 and 22. The middle frame 23 is made of a resin material, and provided with an engaging projection part 41 integrally formed to be inserted into each of the engaging holes 31a and 32a. For the middle frame 23, the engaging projection part 41 is fixed to each of the engaging holes 31a and 32a.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-76456  
(P2001-76456A)

(43) 公開日 平成13年3月23日 (2001.3.23)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	データベース (参考)
G 1 1 B 23/03	6 0 4	G 1 1 B 23/03	6 0 4 M

審査請求 未請求 請求項の数 3 ○ L (全 18 頁)

(21) 出願番号 特願平11-250895

(22) 出願日 平成11年9月3日 (1999.9.3)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社  
東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 目黒 浩

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

(74) 代理人 100067736

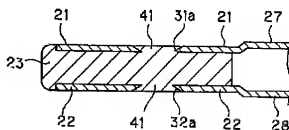
弁理士 小池 晃 (外2名)

## (54) 【発明の名称】 ディスクカートリッジ

## (57) 【要約】

【課題】 カートリッジ本体の小型化及び薄型化を図り、金属製の上プレート及び/又は下プレートと中間フレームとを容易且つ確実に結合する。

【解決手段】 上プレート21及び下プレート22には、中間フレーム23に係合される第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dが穿設される。中間フレーム23は、樹脂材料によって形成されて、各係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dに挿通される係合突部41が一体に形成される。そして、中間フレーム23は、係合突部41が各係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dに固着されている。



H-H 断面図

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ディスク状記録媒体と、

金属材料により形成された一対の上プレート及び下プレートと、上記上プレートと上記下プレートとの間に挟み込まれて設けられる中間フレームとを有し、内部に上記ディスク状記録媒体を収納するカートリッジ本体とを備え、

上記上プレート及び／又は上記下プレートには、上記中間フレームに係合される係合孔が穿設され、

上記中間フレームは、樹脂材料によって形成されて、上記係合孔に挿通される結合用の係合突起が一体に形成され、

上記結合用の係合突起が上記係合孔に固着されていることを特徴とするディスクカートリッジ。

【請求項2】 上記係合孔の孔径は、上記中間フレームに厚み方向に隣接する一方側が、外方に臨む他方側より小さくされていることを特徴とする請求項1に記載のディスクカートリッジ。

【請求項3】 上記上プレート及び／又は上記下プレートには、上記係合孔の周縁部に、上記結合用の係合突起の先端部が熱変形されて係合される係合凹部が設けられたことを特徴とする請求項1に記載のディスクカートリッジ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば磁気ディスク等のディスク状記録媒体が収納されたディスクカートリッジに関する。

【0002】

【従来の技術】ディスク状記録媒体として例えば3.5インチ径とされた可塑性を有するフレキシブル磁気ディスクが収納されたディスクカートリッジが知られている。このようなディスクカートリッジは、互いに組み合わされる一組の上シェル及び下シェルとを有するカートリッジ本体を備えている。これら上シェル及び下シェルは、樹脂材料によって形成されており、フレキシブル磁気ディスクの記録領域の一部を内外周に亘って外方に臨ませるための記録再生用の開口部が形成されている。また、カートリッジ本体の外方には、記録再生用の開口部を開閉可能とするシャッター部材が設けられている。

【0003】以上のように構成された従来のディスクカートリッジは、記録再生装置に装着された際、シャッター部材が移動操作されて、記録再生用の開口部が開放される。そして、ディスクカートリッジは、フレキシブル磁気ディスクが回転駆動されるとともに、記録再生用の開口部から進入された磁気ヘッドによって情報の記録再生が行われる。

【0004】近年、例えば携帯型コンピュータやデジタル・ステレオカメラ等の携帯型の電子機器においては、機器全体の小型化が図られるとともに、より大容量の情報

を扱うことが可能とされる記録再生装置及びこの記録再生装置に用いられる情報記録媒体が望まれている。

【0005】そして、この種の記録再生装置に用いられる情報記録媒体として、フレキシブル磁気ディスクが収納されたディスクカートリッジを小型化及び薄型化することが提案されている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上述した従来のディスクカートリッジは、カートリッジ本体の小型化及び薄型化を図る場合、カートリッジ本体が樹脂材料に形成されているため、厚みを薄く形成することが困難とされており、上シェル及び下シェルの主面の反り等の変形や機械的強度を重視しない場合であっても、最小0.3mm程度の厚みを確保する必要がある。

【0007】また、カートリッジ本体の機械的強度を確保する必要がある場合には、上シェル及び下シェルの厚みを更に大きくすることが必要となる。したがって、例えば2インチ程度のフレキシブル磁気ディスクに対応するカートリッジ本体を樹脂材料のみで形成することが非常に困難であるという不都合があった。

【0008】このため、カートリッジ本体を構成する上シェル及び下シェルの厚みを薄くするためには、上シェル及び下シェルを金属材料によって形成することが考えられるが、金属製の上シェル及び下シェルを互いに接合することが困難であるという問題がある。

【0009】また、金属製の上シェルと下シェルを接合する方法としては、例えば溶接処理により接合することが考えられるが、溶接処理を行うことによって、溶接位置に溶接痕が発生するため、ディスクカートリッジの外観を損なうという問題があるとともに、ディスクカートリッジの組立時間が長くなるという問題があった。

【0010】そこで、本発明は、カートリッジ本体の小型化及び薄型化を図り、金属製の上プレート及び／又は下プレートと中間フレームとを容易且つ確実に結合することが可能とされたディスクカートリッジを提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】上述した目的を達成するため、本発明に係るディスクカートリッジは、ディスク状記録媒体と、金属材料により形成された一対の上プレート及び下プレートとこれら上プレートと下プレートとの間に挟み込まれて設けられる中間フレームとを有し内部にディスク状記録媒体を収納するカートリッジ本体とを備える。上プレート及び／又は下プレートには、中間フレームに係合される係合孔が穿設される。中間フレームは、樹脂材料によって形成されて、係合孔に挿通される結合用の係合突起が一体に形成される。そして、中間フレームは、結合用の係合突起が係合孔に固着される。

【0012】以上のように構成したディスクカートリッジは、中間フレームの結合用の係合突起を熱変形させる

ことにより、上プレート及び/又は下プレートの係合孔に固着される。したがって、ディスクカートリッジは、いわゆる熱変形カシメ処理によって、上プレート及び/又は下プレートと中間フレームとが確実に結合される。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の具体的な実施形態について、ディスクカートリッジを図面を参照して説明する。本発明に係るディスクカートリッジは、例えばノート型パーソナルコンピュータが備えるIC (Integrated Circuit) メモリカードやファックスモデムカード等のPCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association) 規格のPCカードが着脱可能とされるPCカードスロット内に装着されるカード型のディスクドライブ装置に適用されている。また、ディスクドライブ装置は、TYPE II (Release 2.1) のPCカードスロットに適合されている。

【0014】図1及び図2に示すように、ディスクカートリッジ1は、フレキシブル磁気ディスク5と、このフレキシブル磁気ディスク5を内部に回転可能に収納するカートリッジ本体6とを備えている。

【0015】フレキシブル磁気ディスク5は、図2及び図3に示すように、例えばポリエチレン等のシート材によって中心穴8を有する円盤状に形成されており、両面に磁体層が塗布されて形成されている。フレキシブル磁気ディスク5は、例えば2インチ径に形成されており、約150MB (メガバイト) 程度の記録容量を有するようになされている。また、このフレキシブル磁気ディスク5は、例えば3600rpm程度の回転数で回転駆動される。

【0016】フレキシブル磁気ディスク5には、図2及び図3に示すように、中心穴8に、ディスクドライブ装置側のディスク回転駆動機構が有するディスクテーブル9上に載置されるセンターハブ11が接着剤層12を介して取り付けられている。センターハブ11は、磁性を有する金属材料によって形成されており、図2及び図3に示すように、ディスクテーブル9上に載置される略円筒形の中央部13と、この中央部13の外周に一体に形成されてフレキシブル磁気ディスク5の中心穴8の内周部が載置されて接合されるフランジ部14を有している。また、センターハブ11の中央部13には、図3に示すように、ディスクドライブ装置側のディスクテーブル9上に形成された係合突部16に係合される係合凹部17が形成されている。

【0017】カートリッジ本体6は、図2に示すように、上プレート21及び下プレート22と、これら上プレート21及び下プレート22との間に挟み込まれる中間フレーム23とを有している。

【0018】図4及び図5に示すように、上プレート21及び下プレート22は、例えばステンレス材等の金属材料によって略方形をなす平板状に形成されており、厚

みが0.2mm程度に形成されている。

【0019】上プレート21及び下プレート22には、図4及び図5に示すように、ディスクドライブ装置に対する押脱方向の前端側 (以下、前端側と称する。) に、フレキシブル磁気ディスク5の記録領域の一部を内外周に亘って外方に臨ませるための略矩形状の記録再生用の開口部24、25が、互いに対向する位置にそれぞれ形成されている。これら記録再生用の開口部24、25は、上プレート21及び下プレート22の前端側に開口されて形成されている。

【0020】また、下プレート22の中央には、図5に示すように、ディスクドライブ装置側のディスク回転駆動機構が備えるディスクテーブル9をカートリッジ本体6内に進入させるための円形状をなす回転駆動用の開口部26が形成されている。この回転駆動用の開口部26は、図3に示すように、フレキシブル磁気ディスク5のセンターハブ11のフランジ部14の外径より内径が小とされている。

【0021】また、上プレート21及び下プレート22には、図4及び図5、図6に示すように、内方側に配設される後述するシャック部材61が揺動するシャック揺動領域を含むとともに前端側から略中央部まで延長された略矩形状の領域を外方側に突出させた突出部27、28がそれぞれ形成されている。

【0022】この突出部27、28によれば、シャック部材61と、上プレート21及び下プレート22の内面との間隙が充分に確保されるため、上プレート21及び下プレート22の内方側を揺動するシャック部材61の良好な動作が確保されている。さらに、この突出部27、28によれば、上プレート21及び下プレート22が厚み方向に歪むことが防止されて機械的強度が向上される。

【0023】また換言すれば、ディスクカートリッジ1は、シャック揺動領域を有する突出部27、28を除く他の領域の位置の厚みを、この突出部27、28の位置に比較して薄く形成することによって、フレキシブル磁気ディスク5が安定して回転駆動することが可能とされている。

【0024】すなわち、ディスクカートリッジ1は、フレキシブル磁気ディスク5が比較的高速な回転数3000rpm以上とされる例えば3600rpm程度で回転駆動されるため、ベルヌーイの法則により、上下プレート21、22と回転駆動するフレキシブル磁気ディスク5との間隙に気流が発生して負圧状態となり、上下プレート21、22とフレキシブル磁気ディスク5との間に均衡が確保された状態が得られる。

【0025】このような負圧状態で、フレキシブル磁気ディスク5が回転駆動されることにより、フレキシブル磁気ディスク5は、位置ずれが生じることなく、記録面に振れ等が発生することなく平坦に保たれる。したがっ

て、高速回転するフレキシブル磁気ディスクを安定させるためには、気流を安定させるとともに、フレキシブル磁気ディスクの記録面と上下プレート21、22の内面との間隙を一定にさせることが必要となるが、この間隙が小さい方が安定性が向上する。このため、カートリッジ本体6は、シャッタ機構領域を有する突出部27、28を除く他の領域の位置で厚みを均一に小さくすることにより、磁気ヘッドを挟んで気流の流入側と流出側の各間隙が等しくされて、フレキシブル磁気ディスクが安定して高速回転することが可能とされる。

【0026】また、上プレート21及び下プレート22には、図4及び図5に示すように、前端側の一方コーナ部に、押脱方向に対して例えば45度程度の傾斜角で切り欠かれた切り欠き部29、30が形成されている。この切り欠き部29、30によれば、ディスクドライブ装置にディスクカートリッジ1が装着される際に、後述するシャッタ部材61を移動操作するディスクドライブ装置側のシャッタ操作手段に当接することが避けられている。また、上プレート21及び下プレート22は、他のコーナ部が円弧状にそれぞれ形成されている。

【0027】上プレート21及び下プレート22には、図4及び図5に示すように、各コーナ部に隣接する位置に、中間フレーム23に対して位置決めさせて係合される第1、第2、第3及び第4係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dがそれぞれ設けられている。図4及び図5に示すように、第1の係合孔31a、32aは、上プレート21及び下プレート22を中間フレーム23上の所定の位置に位置決めするための基準用の孔とされている。また、第2の係合孔31b、32bは、楕円形をなしており、中間フレーム23に対して長径方向に調節可能な位置調整用の孔とされている。また、第3及び第4の係合孔31c、31d、32c、32dは、中間フレーム23と接合させるための接合用の孔とされている。

【0028】これら第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dは、図1及び図10、図11、図12、図13に示すように、中間フレーム23に厚み方向に隣接する側の孔径が、外周側に臨む孔径より大とされた略断面漏斗状に形成されており、上プレート21及び下プレート22の各係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dに対して固着される中間プレート23との機械的な接合強度が高められている。

【0029】なお、第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dは、略断面漏斗状とされる部分を有する形状であれば他の形状に形成されてもよい。

【0030】また、上プレート21の前端側には、図2に示すように、中間フレーム23を挟み込んで下プレ

ート22に組み合わされる際に、下プレート22の前端側に突き当てられる突当片34が折り返して設けられている。

【0031】上プレート21及び下プレート22には、図4、図5及び図6に示すように、ディスクドライブ装置に対する押脱方向の後端に隣接する位置に、ユーザがカートリッジ本体6を指先で保持するための保持部35、36が外方に突出されて形成されている。この保持部35、36には、保持する指先の滑り止めの直線状の複数の溝が、カートリッジ本体6の幅方向と平行に形成されている。

【0032】中間フレーム23は、例えばナイロン6、PPS(ポリフェニレンサルファイド)、ポリカーボネート等の樹脂材料によって略平板状に形成されている。

【0033】中間フレーム23には、図4に示すように、上プレート21及び下プレート22の外形寸法よりやや大とされた外形寸法に形成されており、シャッタ機構領域に対応する上プレート21及び下プレート22の前端側の一部を除く外周に亘って、上プレート21及び下プレート22の主面に平行な方向に突出される突出部37を有している。

【0034】中間フレーム23には、図7中に斜線部分として示すように、両面上に、上プレート21及び下プレート22が取り付けられる接合用凹部38、38がそれぞれ形成されている。図4に示すように、上プレート21及び下プレート22の外形寸法が長さL1及び幅W1、W2とした場合に、接合用凹部38は、図7に示すように、各部位の寸法が長さL2及び幅W3、W4とれば、 $L2 > L1$ 、 $W1 > W3$ 、 $W2 > W4$ がそれぞれ成立するように形成されている。なお、寸法差は、 $L2 - L1 = W1 - W3 = W2 - W4 = \alpha$ ・・・式1とする。

【0035】また、この接合用凹部38は、図8及び図9に示すように、上プレート21及び下プレート22の厚みよりやや大とされる深さを有するように形成されている。したがって、図9に示すように、中間フレーム23の突出部37は、上プレート21及び下プレート22の主面に直交する方向に僅かに突出されている。

【0036】このため、接合用凹部38内に取り付けられた上プレート21及び下プレート22は、外周部のエッジが外方に突出されないため、エッジに指先が触れることがなく十分な安全性が確保されている。

【0037】そして、図9に示すように、中間フレーム23の接合用凹部38、38内に上プレート21及び下プレート22が接合されたカートリッジ本体6において、カートリッジ本体6の端部に位置する中間フレーム23の突出部37の位置で厚みT1、カートリッジ本体6の中央部に位置する下プレート21、22の主面の位置で厚みT2とすれば、上下プレート21、22の主面に対する中間フレーム23の突出部37の突出量 $\Delta$

Tは、

$$\Delta T = (T_1 - T_2) / 2$$

$$T_1 \geq T_2$$

がそれぞれ成立するように形成されている。

【0038】また、接合用凹部38の底面上には、上プレート21及び下プレート22の各第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dに各々係合される略円柱状の係合突部41、41、41、41がそれぞれ一体に形成されている。

【0039】これら各係合突部41は、上プレート21及び下プレート22に組み合わされた際に、各係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dに挿通された先端部が、これら各先端部を熱変形させて各係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dにそれぞれ固着させるに足る突出量を以て突出される所定の高さに形成されている。

【0040】図4に示すように、上プレート21及び下プレート22の第1の係合孔31a、32aが孔径 $\phi$ 1、第2の係合孔31b、32bが孔径 $\phi$ 1、 $\phi$ 2、第3及び第4の係合孔31c、31d、32c、32dが孔径 $\phi$ 2とされた場合、中間フレーム23の各係合突部41が外径 $\phi$ 3に形成されるとすれば、 $\phi 1 > \phi 3$ 、 $\phi 2 > \phi 3$ が成立するように形成されている。但し、上述した第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dの各孔径 $\phi$ 1、 $\phi$ 2は、中間フレーム23に厚み方向に隣接する側の孔径とする。なお、寸法差は、 $\phi 1 - \phi 3 = \beta$ ・・・式2とする。

【0041】上述した式1、式2に示した各寸法差は、 $\alpha > \beta$ とされている。

【0042】また、寸法差 $\phi 2 - \phi 3 = 2\alpha$ とされている。

【0043】上述した各寸法に、上プレート21及び下プレート22の第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dと、中間フレーム23の係合突部41、41、41、41がそれぞれ形成されることにより、係合突部41に係合された第1の係合孔31a、32aを基準として、係合突部41に係合された第2の係合孔31b、32bを調動させて、係合突部41に第3及び第4の係合孔31c、31d、32c、32dに係合させることによって、上プレート21及び下プレート22を接合用凹部38、38内の所定の位置に高精度に位置決めして取り付けることが可能とされている。

【0044】上述したように、ディスクカートリッジ1は、上下プレート21、22及び中間フレーム23の各寸法が設定されることによって、高温及び低温環境下

における金属製の上下プレート21、22と樹脂製の中間フレーム23の熱膨張率及び熱収縮率の差異により発生する影響が十分に考慮されるため、上下プレート21、22の反り等の変形や接合不良が発生することが確実に防止される。

【0045】また、中間フレーム23には、図7に示すように、フレキシブル磁気ディスクが回転可能に収納される略円形状のディスク収納部45が切り欠き形成されている。このディスク収納部45は、図7に示すように、上プレート21及び下プレート22の各記録再生用の開口部24、25に対応する位置が切り欠かれて形成されている。

【0046】また、中間フレーム23の前端側には、図7に示すように、シャッタ部材61が移動するシャッタ揺動領域に対応する位置に、後述するシャッタ部材61の各シャッタ部65、65間に挿入されるシャッタ移動用の段差部47、47がそれぞれ形成されている。中間フレーム23は、シャッタ移動用の段差部47の位置の厚みが、接合用凹部38内の位置の厚みより小とされている。

【0047】また、中間フレーム23には、図7に示すように、前端部の一コーナ部に、上プレート21及び下プレート22の各切り欠き部29、30に対応する切り欠き部49が形成されている。また、中間フレーム23の他のコーナ部は、円弧状にそれぞれ形成されている。

【0048】また、中間フレーム23には、図7に示すように、切り欠き部49に隣接する位置に、ディスクドライブ装置にディスクカートリッジ1が装着される際に、所定の装着位置に位置決めさせて、ディスクドライブ装置側の係合手段が係合される略V字状の係合溝50が、上プレート21及び下プレート22の外周からカートリッジ本体6の幅方向に突出された位置に形成されている。

【0049】以上のように構成された上プレート21及び下プレート22に中間フレーム23に係合される状態を図面を参照して説明する。

【0050】図1及び図10、図11、図12、図13に示すように、上プレート21及び下プレート22の第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dに中間フレーム23の係合突部41がそれぞれ固着されることによって、上下プレート21、22と中間フレーム23が結合される。

【0051】中間フレーム23は、各係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dに固着された各係合突部41の先端部が上プレート21及び下プレート22の主面に突出されないように係合されており、先端部の端面が、上プレート21及び下プレート22の主面と同一面とされて接合されている。

る。

【0052】つきに、中間フレーム23に対して上プレート21及び下プレート22をそれぞれ接合する接合方法について図面を参照して説明する。

【0053】まず、中間フレーム23は、図14に示すように、受け台56の載置面上に、下プレート22側が係合される係合突部41を外方に臨ませて載置される。図14に示すように、受け台56の載置面上に載置された中間フレーム23上には、接合用凹部38の所定位置に下プレート22が位置決めされて配設される。受け台56の載置面上には、図14に示すように、上プレート21側に係合される中間フレーム23の係合突部41及び突出部37を變形させないように挿入される凹部57a、57bがそれぞれ設けられており、中間フレーム23の形状に合った形状に形成されている。

【0054】図15に示すように、中間フレーム23は、係合突部41を押し下り先端部が平坦面に形成された溶着ホーン58によって、下プレート22の第1、第2、第3及び第4の係合孔32a、32b、32c、32dに押通された係合突部41の先端部を所定圧力で押圧することにより先端部を熱変形させて、各係合孔32a、32b、32c、32dに固着させる。したがって、下プレート22に接合された中間フレーム23の各係合突部41の先端部の端面は、下プレート22の主面と同一平面とされている。

【0055】つきに、下プレート22が接合された中間フレーム23は、図16に示すように、他の受け台59の載置面上に、上プレート21側が係合される係合突部41を外方に臨ませて載置される。図16に示すように、他の受け台59の載置面上に載置された中間フレーム23上には、接合用凹部38の所定位置に上プレート21が位置決めされて配設される。他の受け台59の載置面上には、図16に示すように、下プレート22の突出部28を變形させないように、下プレート22の主面の形状に合った形状に形成されている。

【0056】図17に示すように、中間フレーム23は、先端部が平坦面に形成された溶着ホーン58によって、上プレート21の第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31dに押通された係合突部41の先端部を所定圧力で押圧することにより先端部を熱変形させて、各係合孔31a、31b、31c、31dに固着させる。したがって、上プレート21に接合された中間フレーム23の係合突部41の先端部の端面は、上プレート21の主面と同一平面とされている。

【0057】上述したように、上プレート21及び下プレート22は、第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dが、中間フレーム23に厚み方向に隣接側の孔径が外方側の孔径に比して小さされているため、各係合突部41の先端部を固着させることにより、容易且正確

実に相対係合される。

【0058】また、上述した上プレート21及び下プレート22は、第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dに係合された各係合突部41の先端部の端面が、上プレート21及び下プレート22の主面と同一面とされるように固着される構成とされたが、各係合孔31a、31b、31c、31d及び32a、32b、32c、32dの周縁部に、係合突部41の先端部が係合される係合凹部を設ける構成とされてもよい。この係合凹部について図面を参照して説明する。なお、上述した上プレート21及び下プレート22、中間フレーム23と同一部位については、同一符号を付けて詳細な説明を省略する。

【0059】図18に示すように、上プレート121及び下プレート122の主面上には、各第1、第2、第3及び第4の係合孔148a、148b、148c、148d及び149a、149b、149c、149dがそれぞれ穿設されている。これら各第1、第2、第3及び第4の係合孔148a、148b、148c、148d及び149a、149b、149c、149dは、中間フレーム23に厚み方向に隣接する側の孔径と外方に臨む側の孔径が同一とされている。そして、図18に示すように、各第1、第2、第3及び第4の係合孔148a、148b、148c、148d及び149a、149b、149c、149dの周縁部には、中間フレーム23の係合突部41の先端部が係合されるとともに、略円形状の係合凹部151、152がそれぞれ設けられている。

【0060】そして、図18に示すように、上プレート121及び下プレート122の第1、第2、第3及び第4の係合孔148a、148b、148c、148d及び149a、149b、149c、149dに中間フレーム23の係合突部41の先端部が係合されるとともに、熱変形された先端部が係合凹部151、152内に係合されるとともに収納されることによって、上下プレート121、122と中間フレーム23が結合されている。

【0061】このような上プレート121及び下プレート122に対して中間フレーム23を係合する接合方法について図面を参照して説明する。

【0062】まず、中間フレーム23は、図19に示すように、受け台153上に、下プレート122側が係合される係合突部41を外方に臨ませて載置される。図19に示すように、受け台153上に載置された中間フレーム23上には、接合用凹部38の所定位置に下プレート122が位置決めされて配設される。

【0063】受け台153の載置面上には、図19に示すように、上プレート121側に係合される中間フレーム23の係合突部41及び突出部37を變形させないよう

うに挿入される凹部154a, 154bがそれぞれ設けられており、中間フレーム23の形状に倣った形状に形成されている。また、凹部154aの外周部には、中間フレーム23の係合突部41の外周部に当接されて受ける円環状の受け部154cが突出されて設けられている。

【0064】図19に示すように、中間フレーム23は、係合突部41を押圧する先端部が断面円環状に形成された着着ホーン155によって、下プレート122の第1、第2、第3及び第4の係合孔149a, 149b, 149c, 149dに挿通された係合突部41の先端部を所定圧力で押圧することにより先端部を熱変形させて、係合凹部152内に係合させる。したがって、下プレート122に接合された中間フレーム23の各係合突部41の先端部は、係合凹部152内に収納されており、下プレート122の主面に突出されない。

【0065】つぎに、下プレート122が接合された中間フレーム23は、図20に示すように、他の受け台156の載置面上に、上プレート121側が係合される係合突部41を外方に臨ませた状態で載置される。図20に示すように、他の受け台156の載置面上に載置された中間フレーム23上には、接合用凹部38の所定位置に上プレート121が位置決めされて配設される。他の受け台156の載置面上には、図16に示すように、下プレート122の脚部28を変形させないように、下プレート122の主面の形状に倣った形状に形成されている。

【0066】図20に示すように、中間フレーム23は、先端部が断面円環状に形成された着着ホーン155によって、上プレート121の第1、第2、第3及び第4の係合孔148a, 148b, 148c, 148dに挿通された係合突部41の先端部を所定圧力で押圧することにより先端部を熱変形させて、係合凹部151内に係合させる。したがって、上プレート121に接合された中間フレーム23の係合突部41の先端部は、係合凹部151内に収納されており、上プレート121の主面に突出されない。

【0067】以上のように、各係合孔148a, 148b, 148c, 148d及び149a, 149b, 149c, 149dの外周部に係合凹部151, 152を設けることによって、熱変形された係合突部41の先端部が係合凹部151, 152内に収納されるため、係合突部41の先端部が上プレート121及び下プレート122の主面に突出することを確実に防止することが可能とされるときに、更に容易且つ確実に係合することが可能とされる。また、上プレート121及び下プレート122は、係合凹部151, 152が設けられることによって、中間フレーム23との接合強度を高めるために各係合孔148a, 148b, 148c, 148d及び149a, 149b, 149c, 149dを断面略漏斗状に形成することが必要となる。

【0068】なお、上述した接合方法においては、中間フレーム23の係合突部41の先端部を熱変形させるために、この先端部を加熱させる着着ホーン58, 155が用いられたが、例えば超音波振動により着着が行われてもよいことは勿論である。

【0069】また、カートリッジ本体6には、図2及び図21、図22、図23に示すように、記録再生用の開口部24, 25を開閉可能とするように矢印a<sub>1</sub>方向及びa<sub>2</sub>方向に移動可能に設けられたシャック部材61と、このシャック部材61が記録再生用の開口部24, 25を開塞させるように付勢するばねコイルバネ62とがそれぞれ設けられている。

【0070】シャック部材61は、図2及び図21、図22、図23に示すように、例えば比較的剛性を有する金属材料によって形成されており、互いに平行に対向する一対のシャック部65, 65と、これらシャック部65, 65の基端部を連結する連結部66とを有する断面略コ字状に形成されている。なお、シャック部材61は、各シャック部65, 65の先端部65, 65の間隔が、基端部に比較してやや大きくされており、各シャック部65, 65が略ハ字状をなすように形成されることによって、各シャック部65, 65の先端がフレキシブル磁気ディスク5の記録領域に当接することが防止されている。また、シャック部材61は、各シャック部65, 65の厚さが0.15mm程度に形成されている。

【0071】シャック部材61には、図2、図24、図25、図26に示すように、各シャック部65, 65の対向する位置に、記録再生用の開口部24, 25よりやや大とされた略短形状の開口部68, 68がそれぞれ形成されるとともに、連結部66に跨って切り欠かれて形成されている。すなわち、シャック部材61の各開口部68は、シャック部材61の連結部66側に開口されており、ディスクドライブ装置側の図示しない磁気ヘッドがフレキシブル磁気ディスク5の記録面と平行に移動されて、連結部66の開口側から記録再生用の開口部24, 25内へ進入される。

【0072】シャック部材61の各シャック部65, 65には、図21及び図22に示すように、各シャック部65, 65の移動方向の両端側に、連結部66に隣接して、上プレート21及び下プレート22に移動可能に係合される第1及び第2のガイド突部71, 71, 72, 72がそれぞれ一体に形成されている。これら第1及び第2のガイド突部71, 71, 72, 72は、図27及び図28に示すように、プレス加工等によってシャック部65, 65の一部を外方に膨出させて形成されることにより、先端部が鋭利とされていないため、先端部に指先が触れた場合の安全性が確保されている。

【0073】また、図27及び図28に示すように、第1のガイド突部71, 71には、連結部66側に臨む位置に、上下プレート21, 22に係合されることにより



シャック部材61がカートリッジ本体6の外方側である図27中矢印 $b_1$ 方向に移動して脱落することを防止するための第1の規制面75が、シャック部材65の主面に略直交して形成されている。また、図27及び図28に示すように、第2のガイド突部72、72には、シャック部材65の先端側に臨む位置に、上下プレート21、22に係合されることによりシャック部材61がカートリッジ本体6の中央側である図27中矢印 $b_2$ 方向に移動して脱落することを防止するための第2の規制面76が、シャック部材65の主面に略直交して形成されている。これら第1のガイド突部71、71と第2のガイド突部72、72は、図27及び図28に示すように、各シャック部材65、65の対向する位置に設けられるとともに、シャック部材65の開口部68を挟んで対向する位置に設けられている。

【0074】したがって、シャック部材61は、第1及び第2のガイド突部71、71、72、72によって、カートリッジ本体6の外方側及び中央側に脱落することが確実に防止されている。

【0075】また、各シャック部材65、65の開口部68、68の両側に各々位置するガイド突部71、72とガイド突部71、72は、図21及び図22に示すように、シャック部材65の移動方向に直交する方向に互いに位置をずらして設けられている。

【0076】上プレート21及び下プレート22の突出部27、28は、図4及び図5に示すように、記録再生用の開口部24、25の両側に、シャック部材61の各第1及び第2のガイド突部71、71、72、72が移動可能に挿入される直線状のガイドスリット78、78、79、79が、前端側の一側に沿ってそれぞれ形成されている。

【0077】これらガイドスリット78、79内に挿入された第1及び第2のガイド突部71、72は、図27及び図28に示すように、上下プレート21、22の主面に對して等しい位置又はやや内方に位置する突出量を以て形成されている。すなわち、第1及び第2のガイド突部71、72は、先端部がガイドスリット78、79から外方に突出されないように形成されることにより、ディスクカートリッジ1を取り扱う指先の安全性が確保されている。

【0078】また、記録再生用の開口部24、25の両側に各々位置するガイドスリット78、79とガイドスリット78、79は、シャック部材65の移動方向に直交する方向に互いに位置をずらして設けられている。

【0079】シャック部材61は、図27及び図28に示すように、各シャック部材65、65が上プレート21及び下プレート22の内面と、中間フレーム23との間に位置するように配設されて、各第1及び第2のガイド突部71、71、72、72が上プレート21及び下プレート22の内面側から各ガイドスリット78、78、

79、79内に挿入されることにより、各シャック部材65、65がカートリッジ本体6の内方を矢印 $a_1$ 方向及び $a_2$ 方向に直線的に揺動可能に配設されている。

【0080】また、シャック部材61の連結部66には、図21及び図22に示すように、移動方向の一端側に、ディスクドライブ装置側のシャック操作手段により開閉操作されるための操作部81が、開口部68に隣接する位置に、連結部66及びこの連結部66に隣接するシャック部材65の一部を切り欠くことによって形成されている。この操作部81には、移動方向の一端側に、シャック操作手段が当接される図示しない当接片が、連結部66の一部を折り返して設けられている。

【0081】また、上プレート21及び下プレート22の前端側には、図4及び図5に示すように、シャック部材61の操作部81を移動操作するための操作用の切り欠き部83、84がそれぞれ形成されている。また、操作部の切り欠き部83、84の一端には、図4及び図5に示すように、ディスクドライブ装置側のシャック操作手段を操作用の切り欠き部83、84内に呼び込むための呼び込み用の傾斜部85、86が外周部に連設されている。また、中間フレーム23の前端側には、図7に示すように、上下プレート21、22の操作部の切り欠き部83、84に対応する位置に、シャック部材61の操作部81を移動操作するための操作部の切り欠き部87が形成されている。また、操作部の切り欠き部87の一端には、図7に示すように、ディスクドライブ装置側のシャック操作手段を操作用の切り欠き部87内に呼び込むための呼び込み用の傾斜部88が外周部に連設されている。

【0082】また、シャック部材61の連結部66には、図2及び図21、図22に示すように、矢印 $a_2$ 方向の一端に、捲りコイルバネ62の一端が掛止されるバネ取付片90が一体に形成されている。

【0083】捲りコイルバネ62は、図2に示すように、カートリッジ本体6の前方側の一方コーナ部に配設されている。中間フレーム23には、図7に示すように、捲りコイルバネ62が収納されるバネ組込み用の切り欠き部92が形成されている。このバネ組込み用の切り欠き部92の内周面には、捲りコイルバネ62の他端側が係合される係合面93が形成されている。捲りコイルバネ62は、一端がシャック部材61のバネ取付片90に掛止されるとともに、他端側が中間フレーム23のバネ組込み用の切り欠き部92の係合面93に係合されて設けられている。

【0084】したがって、シャック部材61は、図21、図22及び図23に示すように、捲りコイルバネ62の弾性力により矢印 $a_1$ 方向に付勢されることにより、シャック部材65、65の開口部68、68が、上プレート21及び下プレート22の記録再生用の開口部24、25に対応されない位置に移動されており、記録再

生用の開口部24, 25を閉塞している。また、シャック部材61は、図24及び図25、図26に示すように、捻りコイルバネ62の弾力性に抗して矢印 $a_2$ 方向に移動されることにより、シャック部65, 65の開口部68, 68が、上プレート21及び下プレート22の記録再生用の開口部24, 25に対応する位置に移動されて、記録再生用の開口部24, 25を開放する。

【0085】また、カートリッジ本体6には、図32、図33に示すように、フレキシブル磁気ディスク5の記録面を保護するための上ライナーシート101及び下ライナーシート102がそれぞれ配設されている。これら上ライナーシート101及び下ライナーシート102は、図32及び図33に示すように、例えば不織布層104と、樹脂材からなるフィルム状のラミネート層105とを有しており、フレキシブル磁気ディスク5の外径と略々同径とされた円盤状に形成されている。

【0086】上ライナーシート101及び下ライナーシート102には、図29に示すように、図中に斜線で示すシャック部材61のシャック揺動領域に対応する略矩形状の第1の切り欠き部107が形成されるとともに、中央部に、下プレート22の回転駆動用の開口部26より大径とされた略円形状の第2の切り欠き部108が第1の切り欠き部107に連続して形成されている。

【0087】これら上ライナーシート101及び下ライナーシート102は、図8に示すように、上プレート21及び下プレート22の内面側にラミネート層105を位置させて、上下プレート21, 22の内面上にラミネート層105を溶着させることにより、突出部27, 28に沿って変形された状態で接合されている。

【0088】また、ディスクカートリッジ1は、取り扱い時に、図30に示すように、下プレート22に近接する方向にフレキシブル磁気ディスク5が移動されることにより、下プレート22の内面上にセンターハブ11のフランジ部14が載置された状態となる場合と、図31に示すように、上プレート21に近接する方向にフレキシブル磁気ディスク5が移動されることにより、上プレート21の内面にセンターハブ11の中央部13が当接された状態となる場合がある。

【0089】下ライナーシート102は、図30及び図32に示すように、下プレート22側にフレキシブル磁気ディスク5が移動された状態で、下ライナーシート102に近接されるフレキシブル磁気ディスク5と、この下ライナーシート102との間に、少なくとも微小な間隙Gが確保されるような所定の厚みに形成されている。したがって、図32に示すように、下プレート22側に近接されたフレキシブル磁気ディスク5は、下プレート22の突出部28に沿って変形された下ライナーシート102のエッジにより上方に変形されて記録面を破損すること等が確実に防止されている。

【0090】同様に、上ライナーシート101は、図3

1及び図33に示すように、上プレート21側にフレキシブル磁気ディスク5が移動された状態で、上ライナーシート101に近接されるフレキシブル磁気ディスク5と、この上ライナーシート101との間に、少なくとも微小な間隙Gが確保されるような所定の厚みに形成されている。したがって、図33に示すように、上プレート21側に近接されたフレキシブル磁気ディスク5は、上プレート21の突出部27に沿って変形された上ライナーシート101のエッジにより下方に変形されて記録面を破損すること等が確実に防止されている。

【0091】なお、図示しないが、上述した上ライナーシート101及び下ライナーシート102は、不織布層104とラミネート層105とを有するよう構成されたが、例えば、超高分子ポリエチレンシート、フッ素シート、テフロンシート等の滑性シートに接着剤層を設けた構成としてもよい。このような滑性シートは、上下プレート21, 22の内面に接着剤層を介して接合される。

【0092】上下ライナーシートは、滑性シートを有する構成にすることによって、上述した不織布層104及びラミネート層105を有する構成にして厚みを小さくすることが可能とされるため、フレキシブル磁気ディスクと上下ライナーシートとの間隙Gを更に十分に確保することが可能とされるとともに、カートリッジ本体の厚みを更に小さくすることが可能とされる。

【0093】以上のように構成されたディスクカートリッジ1が装着されるディスクドライブ装置は、図34に示すように、ディスクカートリッジ1が装着されるカートリッジ装着部201に、挿入されるディスクカートリッジ1の前端側の一方コーナ部に対応して、挿入されたディスクカートリッジ1のシャック部材61を開放操作するためのシャック操作アーム202が回動軸203を介して矢印 $c_1$ 方向及び $c_2$ 方向に回動可能に設けられている。

【0094】また、ディスクドライブ装置は、カートリッジ装着部201の所定の位置に、挿入されたディスクカートリッジ1を位置決めさせてロックするためのロックアーム205が回動軸206を介して矢印 $d_1$ 方向及び $d_2$ 方向に回動可能に設けられている。また、ディスクドライブ装置は、図34に示すように、カートリッジ装着部201内に、ディスクカートリッジ1の挿入方向に平行な両側面に臨む位置に、位置決め片208, 209がそれぞれ設けられている。

【0095】以上のように構成されたディスクカートリッジ1がディスクドライブ装置内に装着されて、フレキシブル磁気ディスク5に対して情報の記録再生が行われる動作を図面を参照して説明する。ディスクカートリッジ1は、図34に示すように、ディスクドライブ装置内に挿入された際、位置決め片208に当接されて挿入方向が規制されるとともに、シャック操作アーム202の

先端がシャッタ部材61の操作部81に当接される。

【0096】ディスクカートリッジ1は、図35に示すように、ディスクドライブ装置のカートリッジ装着部201に装着されることに伴って、シャッタ操作アーム202が図35中矢印 $c_2$ 方向に回転動されて、シャッタ部材61が矢印 $a_2$ 方向に移動されることにより、記録再生用の開口部24、25が開放される。また、図35に示すように、ディスクカートリッジ1は、カートリッジ装着部201に装着された際、押脱方向の両側面に位置決め片208、209がそれぞれ当接されるとともに、ロックアーム205が矢印 $d_2$ 方向に回転動されて、カートリッジ本体6側面の係合溝50にロックアーム205の先端が係合される。そして、ディスクカートリッジ1は、図35に示すように、係合溝50に係合されたロックアーム205によって、カートリッジ装着部201内の所定の装着位置に引き込まれるとともに、位置決めされてロックされる。

【0097】そして、ディスクカートリッジ1は、ディスクテーブル9上に設置されたフレキシブル磁気ディスク5が回転駆動され、シャッタ部材61の開口部68、68から記録再生用の開口部24、25内に磁気ヘッドが進入されて、フレキシブル磁気ディスク5に対する情報の記録再生が行われる。

【0098】上述したように、ディスクカートリッジ1は、金属材料からなる上プレート21及び下プレート22と、これら上プレート21、22の間に挟み込まれて接合される中間フレーム23とを有するカートリッジ本体6を備えることによって、上プレート21及び下プレート22を容易に結合することが可能とされる。そして、このディスクカートリッジ1によれば、カートリッジ本体6の機械的強度を確保するとともに外観を劣化させることなく、カートリッジ本体6の小型化及び薄型化を図ることができる。

【0099】また、ディスクカートリッジ1は、上プレート21及び下プレート22の第1、第2、第3及び第4の係合孔31a、31b、31c、31d、32a、32b、32c、32dに挿通された中間フレーム23の各係合突部41の先端部を熱変形させて固着させる、いわゆる熱変形カシメ処理によって、上プレート21及び下プレート22と中間フレーム23とを容易且つ確実に結合することが可能とされる。

【0100】また、ディスクカートリッジ1は、カートリッジ本体6の主面に金属製の上下プレート21及び下プレート22が設けられることにより、カートリッジ本体6の摩擦粉が発生することが抑制されるため、摩擦粉による悪影響を防止することが可能とされて、記録再生動作の信頼性を向上することができる。

【0101】また、ディスクカートリッジ1によれば、突出部27、28を除くカートリッジ本体6の他の位置の厚みが均一に薄く形成されることによって、フレキシ

ブル磁気ディスク5の回転動作を安定させることができる。

【0102】また、ディスクカートリッジ1は、中間フレーム23が樹脂材料により形成されることにより、上下プレート21及び下プレート22との接合を容易に行うことが可能とされて、組立性を向上することができる。また、ディスクカートリッジ1は、カートリッジ本体6の外周部に中間フレーム23の突出部37が設けられて、金属製の上下プレート21及び下プレート22のエッジが樹脂製の中間フレーム23から突出されないため、取り扱い時の安全性を十分に確保することができる。

【0103】また、ディスクカートリッジ1は、カートリッジ本体6の内方を直線的に揺動するシャッタ部材61を備えることによって、シャッタ部材61の支持構造を簡素化することができるとともに、ディスクドライブ装置に対して押脱される際に、ディスクドライブ装置側のカートリッジ押脱口にシャッタ部材61が衝合することが防止されるとともに、カートリッジ押脱口に回転可能に設けられた扉体にシャッタ部材61が揺動することを確実に防止することができる。このため、このディスクカートリッジ1は、シャッタ部材61が破損することを確実に防止することが可能とされるとともに、ディスクドライブ装置に対する押脱時の操作性を向上することができる。

【0104】なお、本発明に係るディスクカートリッジ1、2は、ディスク状記録媒体としてフレキシブル磁気ディスク5が収納される構成とされたが、例えば光磁気ディスク等の他のディスク状記録媒体が適用されてもよいことは勿論である。

【0105】

【発明の効果】上述したように本発明に係るディスクカートリッジによれば、カートリッジ本体の小型化及び薄型化を図り、上下プレート及び/又は下プレートと中間フレームとを容易且つ確実に結合することが可能とされる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るディスクカートリッジを示す斜視図である。

【図2】上記ディスクカートリッジを示す分解斜視図である。

【図3】上記図1におけるフレキシブル磁気ディスクを示すA-A断面図である。

【図4】上プレートを示す平面図である。

【図5】下プレートを示す平面図である。

【図6】上記ディスクカートリッジの側面図である。

【図7】中間フレームを示す平面図である。

【図8】上記図1における中間フレームを示すB-B断面図である。

【図9】上記中間フレームの要部を説明するために示す断面図である。

【図10】上記図1における上記上プレート及び下プレートの第1の係合孔と中間フレームとの係合突部との係合状態を示すH-H断面図である。

【図11】上記図1における上記上プレート及び下プレートの第2の係合孔と中間フレームとの係合突部との係合状態を示すI-I断面図である。

【図12】上記図1における上記上プレート及び下プレートの第3の係合孔と中間フレームとの係合突部との係合状態を示すJ-J断面図である。

【図13】上記図1における上記上プレート及び下プレートの第4の係合孔と中間フレームとの係合突部との係合状態を示すK-K断面図である。

【図14】上記下プレートと中間フレームを接合させる状態を示す断面図である。

【図15】上記下プレートが中間フレームに接合された状態を示す断面図である。

【図16】上記上プレートと中間フレームを接合させる状態を示す断面図である。

【図17】上記上プレートが中間フレームに接合された状態を示す断面図である。

【図18】上プレート及び下プレートに設けられる係合凹部を説明するために示す断面図である。

【図19】上記下プレートと中間フレームを接合させる状態を示す断面図である。

【図20】上記上プレートと中間フレームを接合させる状態を示す断面図である。

【図21】上記ディスクカートリッジの記録再生用の開口部が閉塞された状態を上プレート側から示す平面図である。

【図22】上記ディスクカートリッジの記録再生用の開口部が閉塞された状態を下プレート側から示す平面図である。

【図23】上記ディスクカートリッジの記録再生用の開口部が閉塞された状態をカートリッジ本体の前端側から示す側面図である。

【図24】上記ディスクカートリッジの記録再生用の開

口部が開放された状態を上プレート側から示す平面図である。

【図25】上記ディスクカートリッジの記録再生用の開口部が開放された状態を下プレート側から示す平面図である。

【図26】上記ディスクカートリッジの記録再生用の開口部が開放された状態をカートリッジ本体の前端側から示す側面図である。

【図27】上記図21におけるシャッタ部材を説明するために示すC-C断面図である。

【図28】上記図21におけるシャッタ部材を説明するために示すD-D断面図である。

【図29】上ライナーシート及び下ライナーシートを説明するために示す平面図である。

【図30】フレキシブル磁気ディスクが下プレート側に移動された状態を示すB-B断面図である。

【図31】フレキシブル磁気ディスクが上プレート側に移動された状態を示すB-B断面図である。

【図32】上記図30における下ライナーシートを説明するために示す断面図である。

【図33】上記図31における上ライナーシートを説明するために示す断面図である。

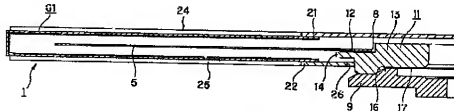
【図34】上記ディスクカートリッジのシャッタ部材にディスクドライブ装置のシャッタ操作アームが当接された状態を示す平面図である。

【図35】上記ディスクカートリッジのシャッタ部材がディスクドライブ装置のシャッタ操作アームによって開放操作された状態を示す平面図である。

【符号の説明】

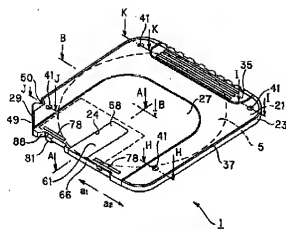
1 ディスクカートリッジ、5 フレキシブル磁気ディスク、6 カートリッジ本体、21 上プレート、22 下プレート、23 中間フレーム、24、25 記録再生用の開口部、31a、31b、31c、31d、32a、32b、32c、32d 第1、第2、第3及び第4の係合孔、41 係合突部、61 シャッタ部材

【図3】



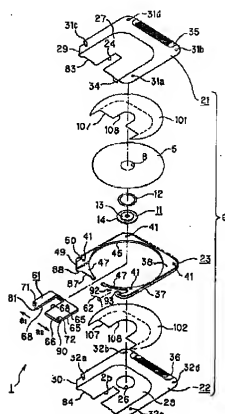
A-A 断面図

【図1】



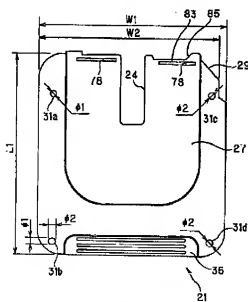
ディスクカートリッジの斜視図

【図2】



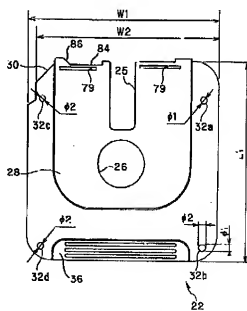
ディスクカートリッジの分解斜視図

【図4】



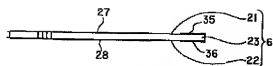
上プレートの平面図

【図5】



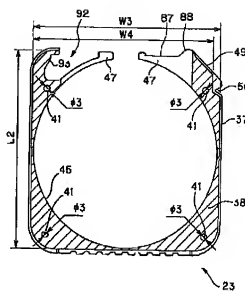
下プレートの平面図

【図6】



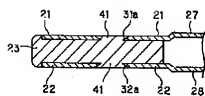
ディスクカートリッジの側面図

【図7】



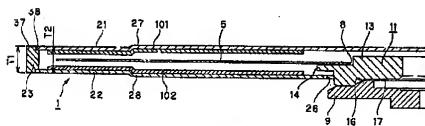
中間フレームの平面図

【図10】



H-H 断面図

【図8】



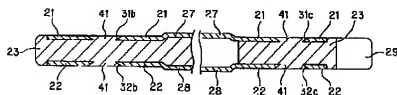
W-W 断面図

【図9】



中間フレームの要部を説明するための断面図

【図11】

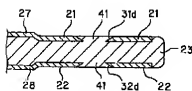


I-I 断面図

【図12】

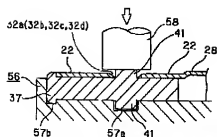
J-J 断面図

【図13】



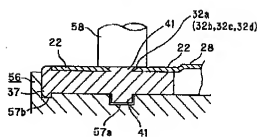
K-K 断面図

【図14】



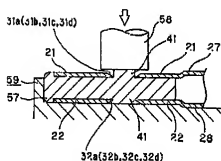
下プレートと中間フレームを接合させる状態の断面図

【図15】



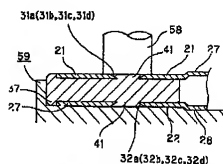
下プレートが中間フレームに接合された状態の断面図

【図16】



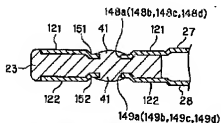
上プレートと中間フレームを接合させる状態の断面図

【図17】



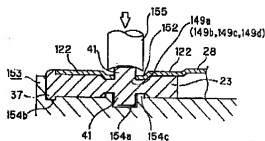
上プレートが中間フレームに接合された状態の断面図

【図18】



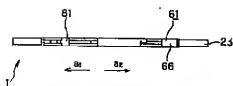
係合凹部を説明するため、示す断面図

【図19】



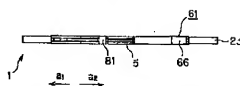
下プレートと中間フレームを接合させる状態の断面図

【図23】



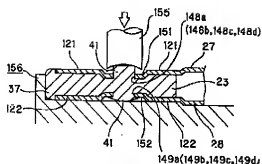
記録再生用の開口部が閉塞された状態をカートリッジ本体の前縁側から示す側面図

【図26】



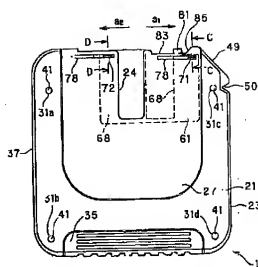
記録再生用の開口部が開放された状態をカートリッジ本体の前縁側から示す側面図

【図20】



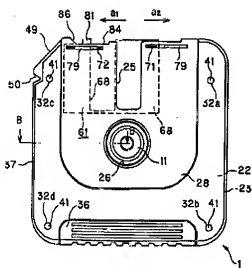
ヒプレートと中間フレームを接合させる状態の断面図

【図21】



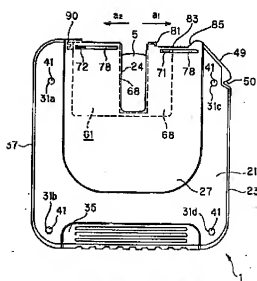
シャッター部材を閉塞した状態を  
上プレート側から示す平面図

【図22】



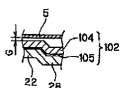
シャッター部材を開塞した状態を  
下プレート側から示す平面図

【図24】



シャッター部材を開放した状態を  
上プレート側から示す平面図

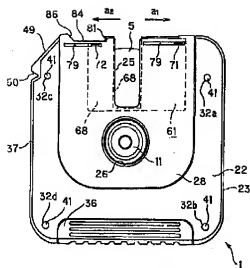
【図32】



下ライナーシートを説明するための断面図

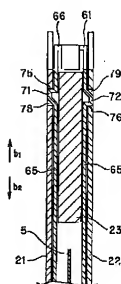


【図25】



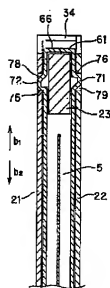
シャッター部材を開放した状態を  
下プレート側から示す平面図

【図27】



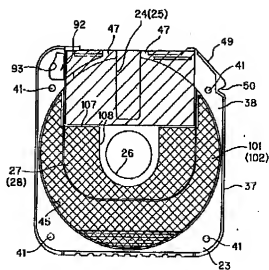
C-C 断面図

【図28】



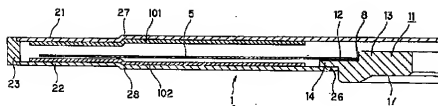
D-D 断面図

【図29】



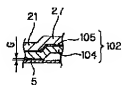
上ライナーシート及び下ライナーシートを  
説明するための平面図

【図30】



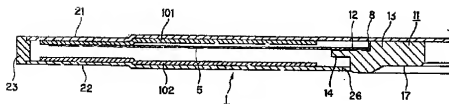
B-B 断面図

【図33】



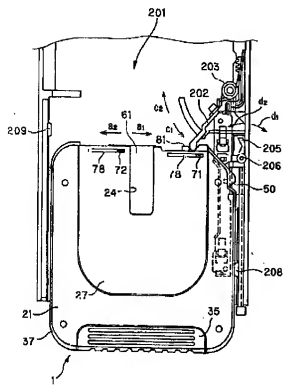
上ライナーシートを説明するための断面図

【図31】



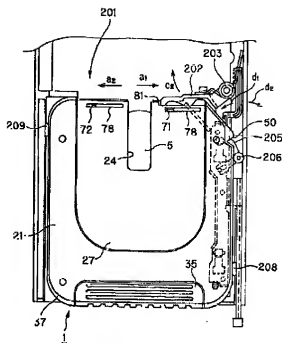
B-B 断面図

【図34】



シャッター部材にシャッターアームが  
当接された状態を示す平面図

【図35】



シャッター部材がシャッターアームによって  
開放された状態を示す平面図